

インドネシアの家庭料理教室

本場のポピュラーなメニューをインドネシア出身の先生と一緒に楽しく作って美味しくいただきます！

と き：12月1日(日)

9時15分受付(12時頃まで)

ところ：にじいろふーみんキッチンスタジオ

持ち物：エプロン・スリッパ・手拭きタオル・三角巾

参加費：会員500円

非会員1,000円

定 員：16名 11/14締め切り

※定員になり次第締め切らせていただきます。

講 師：ウィウィットさん・ファタシャさん

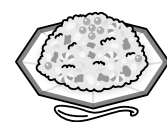
メニューは・・・

○ナシゴレンイカンテリ(ちりめんじゃこの炒飯)

○テンペオレク(テンペの炒め物)

○テロルダダル(野菜入りの卵焼き)

○スープブア(果物のスープ)



ふれあい交流バスツアー

9月29日(日)に協会会員さんや日本語教室生徒さんなど総勢46名で岡山へふれあい交流バスツアーに行ってきました。

日本一の駄菓子屋さんを訪れたり、倉敷の街並みを散策したり、秋の味覚ブドウ狩りをみんなで楽しみました。



参加者の方々がとても楽しんでる姿を見られてよかったです。色々な国、年齢、性別の方たちとの団体旅行、面白かったです。(会員)

ブドウ狩り子どもたちが自ら採ったりして楽しかった。美味しいフルーツを食べながらのわいわい交流もできた。(日本語教室生徒)

会 員 募 集

未来の稲美町の国際化に寄与し、国際交流事業への賛同をいただける方を募集しております。みなさまのご支援のもと様々な活動が出来ております。ご協力よろしくお願い致します。会員の方にはイベントの割引等があります。

※外国人に日本語を教えて下さるボランティアさんも募集しております。

【年会費】・個人	1口	1,000円 (小中高生500円)
・家族	1口	2,000円(同居)
・団体、法人	1口	5,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

編集後記

読書の秋、スポーツの秋、そして食欲の秋、秋本番となりました。公園の木々も色づき始め、過ごしやす季節ですね。猛暑で疲れた体をゆっくり癒してあげたいです。

この夏も10人の留学生が稲美町でホームステイをしました。ホストファミリーとの末永い交流を願っています。この事業にご支援、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。来年も素敵な出会いがありますように。

令和6年度 団体・法人会員 (順不同)

(株)船屋.com

天満神社

京和産業(株)

榎本建築設計事務所

(株)アシス

英建設(有)

キング醸造(株)

ヤマデン(株)

インド・ネパールダイニング・ヴィレッジ

赤松機器工業(株)

(株)稲美乳販

かうらい屋

いなみマイマイ工房

播磨水産 国岡店・百丁場店

植田住地(株)

三美塗装工業(株)

木村建設工業(株)

社会福祉法人日の出福祉会

但陽信用金庫稲美支店

ダディーズ・ベーカリー

(株)はた石材

NOBBY FARM

稲美町シニアクラブ連合会

イナミスポーツ

医療社団法人奉志会

(有)田中縫工所

沼田建具店

古谷産業(株)

タイヤの岡田(岡田トレーディング)

木下製罐(株)

広田鉄工(株)

兵庫南農協 天満支店

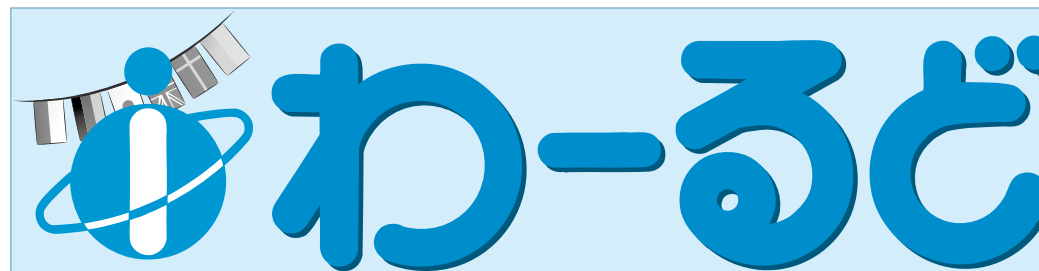
(株)印南食品

兵庫大学 留学・国際交流センター

ワキューセイモア(株) 近畿エリア兵庫営業所

クラウン商事(株)

国際交流通信



年2回
6月・11月
発行

第64号

2024. 11. 1

ふれあい交流 ‘いなみ野の里’ 2024

～8か国10人の留学生と稲美町在住の10家庭の愉快で楽しい思い出でいっぱいの夏休み～



イエウオン
(韓国)



タラセンコ
(ロシア)



アルサ
(セルビア)



エリック
(アメリカ)



ダリヤ
(ベラルーシ)



アーロン
(ドイツ)



ひまわり
(ベトナム)



シン
(タイ)



ヒエン
(ベトナム)



サヨ
(ベトナム)

1日目 8月10日 歓迎会

8月10日(土) いきがい創造センターホールに稲美野万葉太鼓会の皆さんの力強い演奏が響き渡ります。いよいよ大阪大学留学生の入場です。いなっちとハイタッチをしてホストファミリーとご対面。キャンディレイをかけてもらって席に着きます。「こんにちは」「よろしくお願いいたします」緊張の中にも笑顔の花が咲きました。4泊5日のホームステイのはじまりはじまり！！



キャンディレイで
「ようこそ」



迫力ある演奏で
幕開けです



留学生のみんなに太鼓をたたく
体験をしてもらいました



少林寺も披露
いただきました

わーるどクイズ⑦：ベトナムにはいくつの民族が暮らしていますか？

①19 ②37 ③54

答えは最終ページ右下にあります。

【わーるどクイズ⑦の答え】③54

ベトナムには54の民族が暮らしていますが、86%はキン族とウ部族です。その他に53の少数民族が存在します。

2日目 8月11日 文字アートを楽しむ会&茶道体験

2日目は杉本彩先生による文字アートを体験しました。いわゆる一般の書道とは違ってデザイン文字や色付けイラスト等自由な発想で素敵な1枚が仕上がりました。



留学生とどんな文字を書くかコミュニケーションを取りながら、楽しく書く事が出来ました。みんなの作品が個性に溢れていて、素晴らしい作品ばかりでした。(会員)



午後からは東播磨高校茶道部の皆さんによるお茶席を体験しました。ESS部の英語での説明に真剣に耳を傾けて美味しいお茶とお菓子をいただきました。



～グループトークを楽しみました～



お茶の点て方を教える時にわかりやすい日本語を使って説明するのが、考えているよりも難しかったです。
茶道部女子



留学生がとても真剣に先生のお話を聞いていらしたのが印象的でした。交流会ではたくさんの留学生の異文化に触れたり、日本の古き良き文化を紹介したりと、とても濃い時間を過ごすことができて良かったです。
ESS部女子



3・4日目 8月12日・13日 ホストファミリーとのフリーデー

5日目 8月14日 お別れ会

あっという間にお別れの日です。留学生のみなさんから、稲美町での生活について、感想を一言ずついただき、お別れ会としました。サプライズで東播磨高校のESS部の学生さんが、留学生のために折り紙でくす玉を作って持ってきてくれました。

留学生のみなさんの感想を聞かせていただくと、稲美町のいいところも再発見できました。

多くの人に元気や希望を与えてくれた留学生のみなさん、ありがとうございました。



また稲美町に遊びに来てね～!!



～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

弓岡ファミリー

小学生の息子がいるので、良い経験になるだろうと思い、今年初めてホストファミリーに応募しました。

留学生が来るまでは、我が家で楽しんでもらえるのか、言葉は通じるのか等、いろんな不安がありましたが、とても熱心に日本語を勉強している留学生だったので、日常会話も全く問題ありませんでした。

4泊5日間、神戸や天の橋立に出かけたり、家では流しそうめん、スイカ割り、花火をしました。

息子は留学生の母国語のドイツ語を教えてもらったり、普段経験できない事を体験できた特別な夏休みになりました。

留学生は交流会での文字アート、茶道体験もとても楽しかったと話していました。

本当に想像以上に楽しい思い出になりました。国際交流協会の皆様、大変お世話になりました。また機会があれば参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

アーロン(ドイツ)

一生忘れない思い出

稲美町のホームステイプログラムに申し込んだとき、どんな体験をするか想像できませんでした。気分転換に大学生活と違うことをしてみたかっただけです。しかし、開催式ですぐ歓迎されたら、この5日間が良い思い出になると分かりました。

新しい家族ができたと思います。また日本に来るチャンスがあれば、会えるように祈っています。



福田ファミリー

我が家によこそ3番目の孫エリック

ロサンゼルスから来た彼は、シャイで誠実で優しい稀にみる好青年でした。日本語が上手で色々なことをいっぱい話することが出来ました。たまに私たちの播州弁が分からないときもありましたが、高校から日本語を専攻し、陶芸も学んでいたようです。私たちはエリックに会った時から慣れ親しんだ本当の家族のような気がしていました。聞くと三世代同居で、環境も似ていたからでしょう。特に陶芸に関心があり、12日に家族で倉敷に行き、そこでエリックと私は備前焼の体験教室に参加しました。彼はとても器用でお皿と湯のみを見事に作り上げました。お皿はパーフェクトと言われていましたが、私は何度も手直しをしてもらい、やっと完成しました。翌日エリックと孫の慶が卵焼き、酢の物、鶏の照り焼きを作ってくれました。娘の指導のもとですが、美味しく上出来でした。これから会えるのでとても楽しみです。また田舎の我が家に帰ってきてください。待っています。



エリック(アメリカ)

いなみ町での夏休み

僕は軽い気持ちで今回のホームステイに応募したのに、この5日間思いがけない経験をし、一生忘れられない思い出が作れました。稲美町での初体験いっぱいホームステイの一日目に人生初めての夏祭りに行くことが出来ました。涼しい風が吹いてきて提灯などの飾りを眺めながらかき氷を食べて久々に夏の気分になりました。翌日の茶道体験は劣らず強く印象に残りました。僕はもともと陶芸が好きで、陶芸と同じように陶器への美的感覚を重んじる上に独特かつ壮麗な雰囲気を持つ茶道を見て趣深いと感じました。

関西弁が濃くて聞き取れないことや自分の少し不器用や口下手なところがたくさんあったと思うのですが、本当に稲美町に来てよかったと思います。6年前の「わーど」を見ながらこの感想文を書いていると、自分の6年前の姿が目に見えちゃいました。生まれ育ったカリフォルニア州にしか住んだことのなかった僕が今となれば稲美町でこんなに楽しいホームステイに参加できたことを考えれば胸がいっぱいになります。ホストファミリーの皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。おかげで猛暑の中でも5日間があっという間に過ぎ去り、一生の思い出が作れました。

米澤ファミリー

一期一会

受け入れるのは勇気がいります。どんな子が来るんだろうか?何でも食べてくれるかな?部屋は気に入ってくれるかな?どこへ行きたい?どんな体験がしたい?

いっぱい不安と期待が入り混じっています。でも、『一期一会』このような機会をいただいたことを楽しもうと思い、受け入れを決断しました。

歓迎会で初めて会った時、美人で少しシャイな感じがしました。緊張していたのかな?!

ニックネームは「ひまわり」ちゃん、ベトナムから留学生として大阪に来ていました。

日本語はペラペラで、私達よりも難しい日本語を知っています。少しずつ慣れてくると大きな声でよく笑う明るい女の子です。日本食も大好きで、何でも食べてくれました。すぐ家族とも打ち解け、一緒に買い物に行ったり、料理をしたりと娘のような存在になりました。彼女は買い物の時も荷物を運んでくれたり、食後は食器を洗ってくれたり、家事も手伝ってくれました。

フリーデーには、私も行きたいと思っていた「藍染体験」が一番印象に残っています。面白い先生とひまわりちゃんの巧みな日本語会話で、始めから染め終わりまで笑いが絶えず本当に楽しい時間を過ごすことができました。

お別れ会が終わり、自宅に戻ると彼女がいないので、とても寂しく感じました。

短い期間でしたが、楽しい時間をありがとうございました。

ひまわり(ベトナム)

楽しかったホームステイ

日本語を学んだことは、私の人生における最良の決断の一つだったと言える。そのおかげで、とても素敵な人たちと出会えるようになった。そして幸運なことに、米澤ファミリーと4泊5日間で一員として暮らすことができた。みんなと一緒に藍染したり、手持ち花火をしたり、美術館に行ったり、神戸ハーブガーデンで香水をしたりした。どの体験も楽しかったが、おそらく一生忘れられないのは、米澤家でなまハルマキを作り、関西弁でみんなで楽しくおしゃべりしながら食事をしたことだろう。まるで自分の家にいるような雰囲気だ。生まれ変わったら、本当の一員になりたいと思ったものだ。

ホナムにありがとう!



～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

船原ファミリー

ホームステイ

ホームステイでイエウォンちゃんが家に来てくれてとっても楽しかったです。イエウォンちゃんは日本語が本当に上手で日本人かと思うぐらい楽しくしゃべることが出来ました。ホームステイ中は本当の家族のように話したりご飯を食べたり遊んだりでかけたりして四泊五日がとても短く感じました。

姫路城に行ったときはとても暑くて一番上の階まで登った時は汗だくだったけれど姫路城のことがたくさん知れて本当に楽しかったです。そば打ちに行ったときは、とても難しくて苦労していたけれどみんなとってもうまくて、その自分たちで打ったそばを持って帰って食べたけれど13人分もあってどんなに食べても食べきれなかった。そばは飽きてしまったけれどそばをいろんな食べ方で食べて本当においしかったです

そのあとは海に行ってみんなで遊んで、海が本当にきれいでした。

そのほかにもいろいろな所に行って本当に楽しかったです。このホームステイでいろいろなことを学べて本当に楽しかったです。来年のホームステイも参加したいです。



イエウォン (韓国)

稲美町での5日

4泊5日間楽しい思い出ができました。1日目の歓迎会では和太鼓や少林寺拳法の公演を見ました。実際に体験して楽しかったです。2日目の文字アートや茶道も、日本文化を学べる時間になりました。茶道はとても本格的な順番で行われました。ホームステイでの経験も楽しかったです。優しい家族の方々とおいしいご飯を食べて、すてきな場所に行き、楽しくみんなで過ごしました。フリータイムには姫路城に行きました。すごく暑かったが、姫路城はとてもきれいで、すしもおいしかったです。ホストファミリーのおかげで忘れられない思い出ができました。稲美町に来られてとてもよかったと思います。これからも交流を続けたいです。

ヒエン (ベトナム)

幸せな時間

この5日間、ホストファミリーのみなさんと過ごしたのは日本にいる間に一番幸せな時間でした。稲美町での生活は、私のベトナムの実家を思い出させるものでした。田んぼやため池の美しさ、先祖を敬う文化、そして地域の人々の温かさに触れ、心が温まりました。特にみんなと一緒に作ったたこ焼きや、お墓参りは、忘れられない体験です。また、姫路城の訪問や神社での貴重な経験も、私にとってすばらしい思い出になりました。このような国際交流プログラムは異なる文化を持つ人々が一緒に過ごし、お互いの文化を理解しあう良いチャンスです。私自身、ベトナムと日本の文化の違いを感じながらも、共通点や相互理解の大切を学びました。こうした交流を通じて、国境を越えた友情や絆が生まれ、世界がより平和でつながりのある場所になると信じています。



藤田ファミリー

29年ぶりに留学生を受け入れました。来たのはベラルーシのダリアちゃん。以前は子どもたちのために受け入れましたが、子どもも成長し、それぞれに親となり今回は孫のために受け入れることにしました。

政界情勢が不安な中、そういった事には触れずに日本の文化や生活を楽しんでもらえることを考えて計画していました。ダリアちゃんはとてもシャイな子で、おそらく大学の寮からもほとんど外出していないように感じました。我が家に来た最初の夜に地域の夏祭りがあり、初めての浴衣を着て喜んでいたのを思い出します。我が家に帰り、本物の日本刀を持って写真も撮りました。一番驚いたのは入浴の時、お風呂でもシャワーでもどちらでもいいよ。と言って次に入ったら風呂の湯が完全に抜かれていたことです。

手巻き寿司パーティーやたこ焼きパーティー、明石海峡大橋を渡ったことがないと聞いて暑い中淡路島にも行きました。たこ焼きが気に入ってベラルーシに帰って作りたいらしく、手に入る材料を考えてレシピ書いて渡しています。

今回受け入れて感じたこととして日数が少ない事、毎日がハードスケジュールでバタバタとあっという間に過ぎたように感じます。以前受け入れたときは8日間で、1日ゆっくりと話をしたり、向こうの国料理を作ってもらったりする時間もありました。8日も生活をすれば情もうつるので、お別れの日にはほとんどが涙を流してお別れをしていた記憶があります。

ダリアちゃんに「日本に来る前に思っていた日本と来てから感じた日本はどう違う?」と聞いたら「来る前に思っていた日本は夢の国、来てみたら普通の国」と言っていました。

孫たちも大変楽しかったみたいで来年もダリアちゃんが来てくれると思っているようです。が、それはちょっと無理なのですが来年度も受け入れを希望したいです。



宮之脇ファミリー

2回目の受け入れとなった今回、ベトナムのサヨちゃんが来てくれました。

サヨちゃんは、日本語を専攻していたこともあり、とても上手くコミュニケーションを取ることができました。子供が好きという事もあり、子供たちにとけこんでいくのも時間がかかりませんでした。

親戚が集まって、BBQや花火を楽しんだり、サヨちゃんの要望で日本料理と一緒に作りました。

サヨちゃんが好きな、お好み焼きや、たこ焼き作りに挑戦! 上手に作る事ができて大喜びで、みんなで一緒に食べました! サヨちゃんのご両親とテレビ電話を通じて、通訳してもらいながら関わる事もでき、よく知らなかったベトナムについての理解を深めることができ、とても良い経験となりました。

特にこどもたちにとっては、他国の文化や風習を知る良い機会となり、相手を理解し尊重することの大切さが学べるのではないかと思います。

素晴らしい出会いをいただき本当にありがとうございました。



サヨ (ベトナム)

ホストファミリーのことが大好き♡

5日間があっという間に過ぎました。私は約11か月日本に滞在していますが、今回初めてホームステイで生活をしました。普段一人で過ごすことが多い私にとって、今回のホームステイは、まるで実家に戻り、家族と一緒に生活するような、有意義な体験となりました。

5日間私は特別なお客様としてではなく、Miyanowaki家の一員として、一緒にお祭りに行ったり、買い物をしたり、おばあちゃんの家でバーベキューをしたりしました。そして、お好み焼きとたこ焼きが好きだと言ったら、すぐにみんなが作ってくれたり、短い時間の中で本当にたくさんの楽しい体験をさせていただきました。

ホームステイに参加して、よかったと心から思います。Miyanowaki家族の皆さん、5日間、本当にお世話になりました。たくさんのお話をして、面白いことを教えて、応援していただき、勉強になりました。皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

ありがとうございました。

中谷ファミリー

『心 (Chin) と過ごしたアッ!!・・・という間の5日間』

心も楽しみにしていた日本の田舎の家庭で過ごす5日間!良かった?面白かった?

パパママの家は、心と同じぐらいの年齢の子供がもう家にはいないので、日本のアニメや歌手の話がなかなか出来なくて悪かったね!でも日本の歴史の話は少しできたかな?

名前:Yuttepa Mathurada/ユッテパー・マトゥラダー Nickname:「心 (Chin)」 「ころ」と読まずに「シン」と読ませ、スペルもShinではなくChin... なんか漢字や発音に拘りを見せてる! (笑)

心の母国はタイ。バンコク北隣の県ノンタブリ出身の22歳。現在、美術および考古学分野では、国内最高峰にある国立シラパコーン大学で日本語を専攻している。当然、心も日本のアニメに大に関心を持っていた。

そして、昨年9月から大阪大学に1年間の短期留学で日本へ。日本政府の日本語検定試験も順調にそのクラスを上げているようなので、私達も心との日本語会話について障害はなかった。そんな心と私達の5日間は、思わぬ出来事や予定通りに行かないことばかりでちょっと彼女にとって可哀そうな事だったけど、私達の考えもあり普段の日本の生活をそのまま彼女にも経験してもらった。

ただ、エアコンの効いた部屋で毎日過ごす訳もいかないので、どこかへ連れて行ってやろうと思い「出来るだけ涼しい場所に行こう」「人混みを避ける」「渋滞は絶対に嫌だ!」と考え「八反の滝」(豊岡市)と「生野銀山」(朝来市)に決めた。予想通り八反の滝は、人も少なくマイナスイオンをたっぷり吸ってきた。誤算だったのは、昼飯を食べようと思い卵がけご飯の専門店に行ったら2時間待ちの「午後3時頃」はさすがに無理だった。その後の道中で焼肉を食べ、生野銀山へ直行。ここは、「嬉しい誤算」で坑道が寒すぎて道程の最後の方は出口に急いだ(笑)

翌日は「涼しい場所」「人混みを避ける」等のキーワードを除外して、まずは稲美町を少しでも知ってもらうため、加古大池～鳴岡稻荷神社～天満神社と天満大池を巡り、その後、心がまだ行った事がない「姫路城」に出かけた。しかし、この観光スポットは外国人観光客で溢れていて、尚且つ暑く、とても天守閣まで登る事も出来ずに「這這の体」で逃げ帰ってきた(笑)

その夜、タイ・ナコンパトム(バンコク西隣の県)に住む彼女のお母さんとLineビデオで約1時間心の事を中心に色々な話をした。もちろんナコンパトムで再会も約束した。

このように、この5日間は、色々あったけれど「日本の家庭の雰囲気」「田舎の風景」等少しは感じてもらえたのではと思う。心の今後の進路はまだ決めてないようですが、本人の希望通り、習得した日本語を生かせる仕事に就く事ができれば...と思う。



シン (タイ)

稲美町で一生に忘れられない記念

最初、パパとママとラインで話した時、けっこうタイが好きだよーって知っていますが、会った時、パパとママはタイスタイルのズボンとドレスを着てくれて本当に嬉しかったです。交流会の後、家に帰ったらたくさん話をとても面白かったです。タイのこともたくさん話したり、関西弁や播州便など教えられたりしました。お互いに知られて本当に良かったなあとと思っています。このような日本人の家族と近くできて初めてです。パパとママもずっと最初の日から最後の日まで、シンは家の娘のように見ているよって言われていてとても嬉しいです。私もパパとママは日本のパパとママのように見えています。最初の日話はほとんど何が好きとか何が嫌いとか、そういう質問のおかげで、ずっと好きなもの食べられます。トマトは嫌いというけど、いつもパパが「トマトしようか!」とか冗談られていつもみんな笑いました。ママが作ってくれたものはとても美味しかったです(本当に)その4日間ずっと「おいしいいい!」と言いました。今、ママとパパが私が何が好きか嫌いかわかっているかも。13日に外で食べに行き、私がココアアイス注文しました。ココアアイスが来た時、ママが「シンちゃんの顔に幸せーって書いたよ!」と言われました。何が好きか嫌いかわかると覚えてくれてとてもうれしかったです。12日に連れて行ってくれた場所は遠いけど長い時間で運転してくれたパパのおかげで、きれいな八反の滝や生野銀山まで行けます。自分一人でやっぱり無理だけどこのような美しいところがあったってすごいうれしかったです。特に生野銀山はたっぷり歴史があってすごかったです。13日にも稲美町のまわりにドライブして美しい景色を見られて、やっぱり緑の田んぼと青い空は本当にきれいかったです。

この交流会を参加させてくれて、きれいな景色も、優しい家族と出会えることも、一生に忘れられません。

～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

赤松ファミリー

再会を楽しみに

我が家の夏の恒例行事になりつつあるホームステイ、今回はロシアから来たタラセンコを迎えました。事前に連絡を受けた時、どんな5日間になるか少し戸惑いもありましたが、歓迎会で彼と会った時、その不安は消えました。爽やかな笑顔で、上手な日本語で私たちに話しかけてくれました。今年の4月に来日するまで1年間独学で日本語を勉強したそうです。

稲美町の田園風景、田舎の家がとってもいい感じと気に入ってくれました。早速、何か畑の手伝いをしたいと言ったので、家の前の草刈りをお願いすることに。お客様ではなく、家族の一員として過ごしたい気持ちがすぐ伝わってきました。朝食では、ロシアの一般的な料理のブルニ(クレープのようなもの)を丁寧に作ってくれました。バナナとホイップクリーム、翌日はサーモンとサワークリームを挟んで、とっても美味しかったです。一緒にボウリングに行ったり、お墓参りに行ったり、親せきとバーベキューしたりしていくうちに、距離は縮まり、それぞれの家族のことから国の文化や風習までたくさん話しました。私たちは、将来のことをしっかり考え、日本の機械工学を学びたいとがんばっている彼をずっと応援したいと思っています。次に会うときは、畑でビーツを育てるので、伝統料理のボルシチを作ってくれと約束をしました。稲美町にホームステイを希望している学生がたくさんいると聞きました。初めてホストファミリーを受けた時、外国の人を招くという緊張感のようなものがありました。でも、いろんな国の学生たちと飾らないで日常の生活を共にすることで家族のようになり、こんなに素晴らしい出会いが稲美町で経験できて本当によかったなと感じています。国境を越えて一人ひとりが仲良くなれる第一歩になればと願っています。



タラセンコ (ロシア)

「違」より「和」

賑やかな大阪から出発して、自然に恵まれた稲美町に来た。田んぼと池の美しい景色を見て、楽しさと癒しを感じた。歓迎会でホストファミリーと初めて会ったとき、最初から仲良くできるような気がした。もっと話しつつ、その気持ちが強まったことに気づいた。その日の夜、一緒に美味しい手巻き寿司を食べながら話を続けた。家族メンバーのお互いと仲良くできるだけでなく、私も受け入れる姿を見て感謝した。その後、様々な楽しいことを経験して、光陰矢の如し、最後のフリーデーが終わった。この時間は短く感じたが、ホストファミリーの優しさや親切さのおかげで一緒に長い時間を過ごしたような気がしてきた。交流してお互いの国の文化をもっと良くわかってきた。文化の違いより人々の日常生活の楽しさや悩み、喜びやおそれの似ていること、そして人間関係の美しさに気がついた。虚心なく一生懸命頑張っている高校生と大学生と話して、やはりこの世界に良い未来があると感じた。国を問わず世界の人々が和気あいあいと協力したら、その美しい未来が作れると信じる。

森玉ファミリー

セルビアからやってきた好 (高!) 青年のアルサくん

お土産の大きなスイカをリュックに詰めて190cm超えのアルサくんが我が家に来てくれました。礼儀正しく思いやりがあり、話好きの理系男子アルサくんとの5日間は本当に楽しい時間でした。

セルビアについて前知識のなかった私たちは、矢継ぎ早に質問攻め。対する彼は、日本人かと間違えそうになるくらい流ちょうで明瞭な日本語で彼のおじいさんの話や四季があることなどを話してくれ、セルビアとの距離が一気に縮まりました。

聞けば5歳の時におじいさんから教えてもらった紙飛行機から日本に興味を持ち、独学で勉強したとか。何かの拍子で「上手ですね。」と言われたので「まあお手ね。」と答えたと2つの上手の違いは何ですか?とか、どなた様と何様の使い方など、日本語への探求心が尽きず、将来のことを熱く語る彼に感心し、また初めて食べる日本の料理、文化、故郷を思い出す自然にふれ無邪気に感動する姿に私たちも嬉しく、元気をもらいました。

アルサくん、今度我が家に帰って来たときにはもっと『上手に』質問に答えるからね!



アルサ (セルビア)

最初の夜は刺身と天ぷら。まずは、私をもつて、材料を買いに行く。「お菓子は何かいい?」っと。チョコレートが好きだと言ったので、いいドイツのチョコレートをかごに入れる。しかし、結局はチョコレートを食べずじまいだったのである。他にもおいしいものが山ほどあったからだ。焼肉、すき焼き、手作りエビ天ぷら、淡路島のハンバーグとたこ焼き、卵焼き、日本のブドウ等々。

淡路島で釣りをして、とれた魚を夕食にするという面白い企画をやる。実際結構とれてよかった。

姫路城を見るという、前からの望みがかなえられた。

食べてみた日本料理も、連れてもらった場所も、ここで記しつくせないほどある。

茶道体験は非常にインパクトが強かった。あそこで得た知恵は人生を改良する力を持っていると思う。

あなたもホストファミリーになってみませんか

留学生にとってもホストファミリーにとってもあっという間の4泊5日でした。初めて受け入れて下さったホストさんはホームステイが始まるまでとても緊張されていたことと思います。ことは通じるかな? 食事は大丈夫かな? 何をしたらいいんだろう、等々不安に思われていたのではないのでしょうか。初めての方だけではなく、何回もホストファミリーを経験されている方も毎回異なる国からやってくる留学生には、歓迎会で会うまでドキドキされているかもしれません。でも実際に留学生に会ってみたら「え! ?こんなに日本語が話せるの?」「何でも食べてくれるやん。」「外国料理教えてくれた。」「子どもたちもめっちゃなついて一緒に遊んでるわ。」まだまだ驚きの連続だったことでしょう。感想文からも伝わってきます。

お客様としてではなく家族の一員として迎えることで、言葉や文化の違いはあってもお互いの距離はぐっと縮まります。次回はあなたの家庭でも留学生を受け入れてみませんか。当協会ではできるだけたくさんの方に素晴らしい出会いをお届け出来たらと考えています。いつもとは違う夏を過ごしてみませんか? ご興味のある方は一度事務局にお越し下さい。

2024国際理解キッズカレッジが開講しました!!

今年度のテーマは兵庫大学の留学生との交流です。

一緒に活動してくれる留学生は5名、カレッジ生12名と一緒に多文化理解に向けて交流を深めます。

第1回 外国のことを知ろう 6/9 SUN

第1回は一緒に活動するメンバーに自己紹介と兵庫大学留学生の母国のことを教えてもらいました。ベトナム、中国、ALTの先生からはフィリピン、アラスカのことも教えてもらいました。色々な国の色々な1面を知ることができました。最後にみんなでゲームも楽しみました。



自己紹介タイム

ベトナムのじゃんけんを
教えてもらったよ!

R6年度参加メンバーでハイチーズ!!

第2回 サマーキャンプ 6/30 SUN

第2回の活動には兵庫大学に短期留学で来られている25名の留学生も一緒に1日いなみっこ広場と水辺の里公園で活動しました。折り紙をしたり、ヨーヨーお手玉を作ったり、巻きずし作りもしました! 最後に野外で流しそうめんにスイカ割。夏を濃縮した1日を過ごしました。



英語で自分の事を伝えてみよう!



巻き寿司作り体験



流しそうめん体験

第3回 JICA訪問 8/26 MON

第3回は夏休み恒例のJICA見学です。バスの中でわーどクイズをしていたらすぐに到着です。平日のJICA関西はお仕事されている方もたくさん。JICAの役割や世界の中で自分たちに何ができるか考えるきっかけになりました。JICA海外協力隊に行かれた廣瀬さんのお話はとても興味深く、たくさんの子が質問できていました。SDGsコーナーやJICA食堂でのランチも楽しかったね!



JICA協力隊のお話



SDGsコーナーにて